

令和元年度

東京都職員臨床衛生検査技師会

定期総会資料

# 会長のあいさつ

コロナの影響で、どの施設も大変な毎日を過ごされていることと思います。検査技師で感染者がでていないことは、幸いとしかいいようもなく、この先も感染対策を十分にしておこなって業務に当たらなければと痛感しております。

退職者を送る会、新人歓迎会（ボーリング）が相次いで中止となり、今回は総会も中止の判断をいたしました。会員の皆様には、楽しみにしていたイベントが開催できませんでしたこと、お詫び申し上げます。

総会に関しましては、書面にてご意見を賜れるいい機会と思い、9つの審議をお願いしたいと思っております。是非、スライドをご覧ください。投票をお願いいたします。

最後になりますが、退任にあたり、皆様に感謝申し上げます。2年間ありがとうございました。

東京都検査技師会会長

小林真実

令和元年度

# 一般経過報告

# 令和元年度一般経過報告1

開催日	内容	開催場所・参加人数	主な議題
R1.6.20	定期総会	東京都保険医療公社豊島病院 8階研修室 参加 46名 委任状 192名	平成30年度活動・会計報告 令和元年度活動方針案 令和元年度予算案、会則改訂 新役員の改選
R1.7.30	第1回三役会 第1回幹事会	多摩総合医療センター 検査室 参加 4名 メールによる連絡	新役員・施設幹事紹介、年間計画 定期総会報告 組織部・学術部活動方針 会員名簿・会費納入について 幹事役割分担
R1.9.12	第2回三役会 第2回幹事会	多摩総合医療センター 検査室 参加 4名 メールによる連絡	専門性向上研修の案内 学術交流会について 退職者を送る会について 会計から会費納入について 専門性向上研修テーマ募集について

# 令和元年度一般経過報告1

開催日	内容	開催場所・参加人数	主な議題
R1.10.1	第3回幹事会	東京都監察医務院 2階講堂 参加 16名	退職者を送る会について 専門性向上研修について 学術交流会について 専門委員会について 会計から会費納入について
R1.12.16	第3回三役会	多摩総合医療センター 検査科 参加 5名	学術交流会について 退職者を送る会について 定期総会について 幹事名簿について 新人歓迎会について
R2.2.6	第4回三役会 第4回幹事会	多摩総合医療センター 講堂フォレスト 参加 22名	退職者を送る会について 役員選挙について 総会講演会について 名誉会員の推薦について 新人歓迎会について 専門委員会について

# 第1号議案

令和元年度 活動報告

令和元年度

# 組織部活動報告

# 令和元年度 組織部活動報告 1

種別	内容	参加人数
令和元年度 定期総会・講演会	令和元年6月20日  『自律神経のしくみとその 障害による疾患・対処法』  講師：東京都健康長寿医療 センター研究所 自律神経 機能研究室  内田 さえ先生	46名 (福祉保健局5名・ 病院経営本部31 名・公社10名)



# 令和元年度 組織部活動報告 2

種 別	内 容	参加人数
懇親会	平成30年度 定期総会懇親会	44名
	令和元年度 第1回学術交流会 懇親会	41名
	令和元年度 第2回学術交流会 懇親会	39名

# 令和元年度 組織部活動報告 3

種 別	内 容	参加人数
主催事業	退職者を送る会 記念品、お花、アルバムを贈呈	中止 記念品：232名
レクリエーション活動	新人歓迎会	中止
情報提供活動	技師会ホームページ更新	閲覧回数2765回 閲覧人数1641人 (2020.5.30時点)

令和元年度

# 学術部活動報告

# 令和元年度 学術部活動報告

種 別	内 容	参加人数
学術研究交流会	第1回 令和元年10月1日 監察医務院 3階 講堂	72名
	第2回 令和2年2月6日 多摩総合医療センター フォレスト講堂	91名
専門性向上研修	令和元年度 全5回実施 テーマ「チーム医療に貢献できる臨床検査技師を目指して」	計164名 (延べ)
専門委員会活動	令和元年度 4分野専門委員会にて開催	
	生理専門委員会 令和2年2月13日	28名
	輸血専門委員会 令和2年2月20日	34名
	病理専門委員会 令和2年2月21日	72名
	細菌専門委員会 令和2年3月13日	中止

# 令和元年度 学術研究交流会（第1回）

施設名	発表者氏名	演題
大塚病院	江俣 直人	意識向上！感染防御
駒込病院	三本木 咲花	肉芽腫性乳腺炎における臨床と超音波画像の検討
駒込病院	大矢 未来	当院で経験した体位性偽性貧血を疑う症例
墨東病院	清水 翔太	LABOSPECT008 を用いたラテックス凝集比濁法によるBNP 測定試薬の基礎的検討
多摩総合医療センター	遠藤 彩子	採血室の効率的な運用を目指した改善

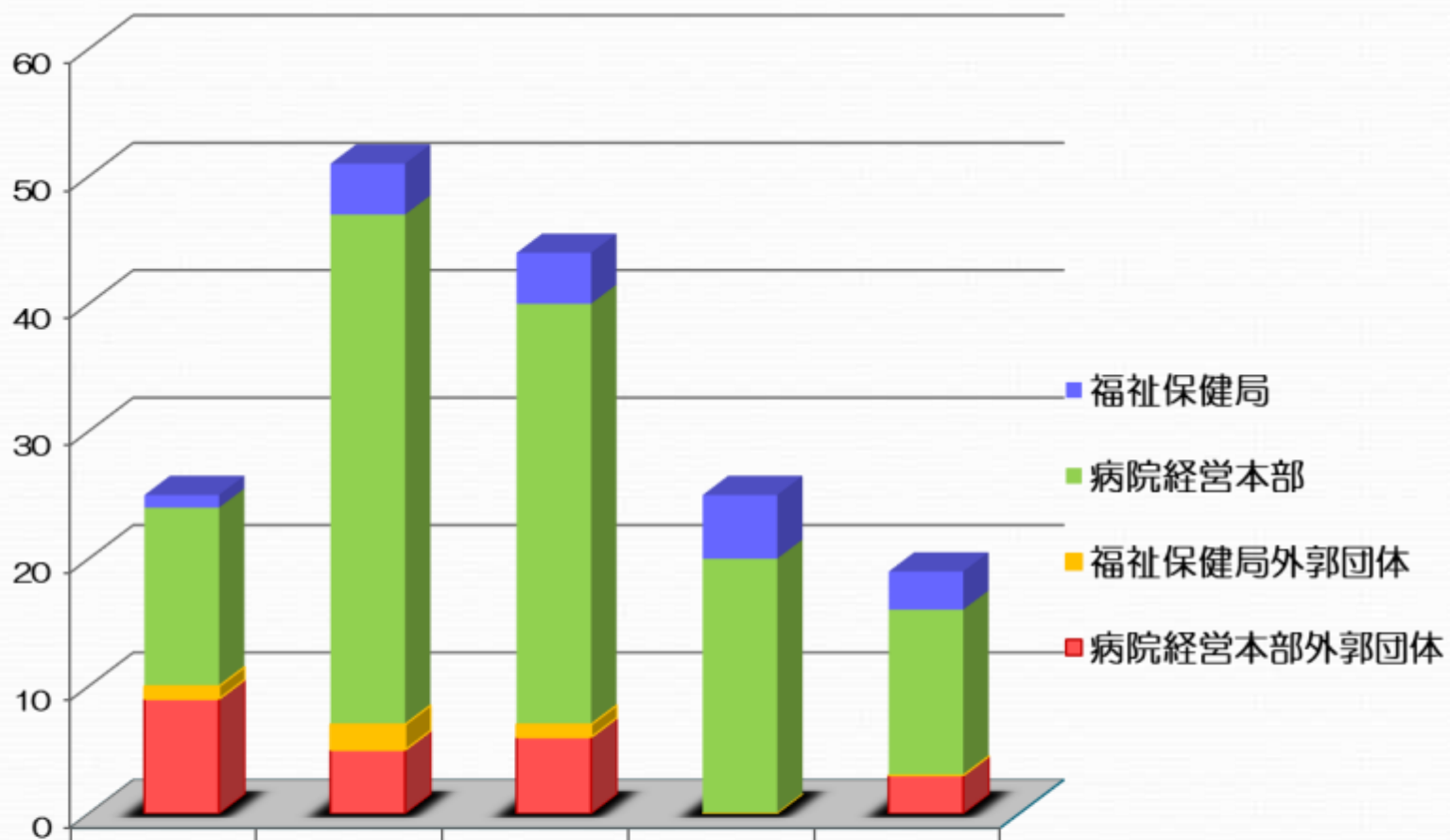
# 令和元年度 学術研究交流会（第2回）

施設名	発表者氏名	演題
多摩総合医療センター	田中 麻衣	抗E+抗c+抗Jka+抗Dia+自己抗体（非特異性の温式）を検出し、適合血選択に苦慮した骨髓異形成症候群の一例
小児総合医療センター	森杉 高茂	当院にて経験したランゲルハンス細胞組織球症を含む頭蓋内腫瘍3例
多摩総合医療センター	五十嵐 大士	ホルマリン払出及び受け取りの個数管理
広尾病院	為 智之	Sporothrix globosaによるスポロトリコーシスの1症例
墨東病院	汐谷 陽子	検体管理システムと検体検査システム併用による検体管理

# 令和元年度 専門性向上研修

	開催日	テーマ／講師	人数
第1回	令和元年 5月20日	「採血知識の再確認」 墨東病院 輸血・細胞治療科部長 藤田 浩先生	25名
第2回	令和元年 7月10日	「放射線画像入門」 大塚病院 診療放射線科 統括課長代理 元良 健一先生	51名
第3回	令和元年 10月15日	「がんゲノム医療始動」～臨床検査技師の果たすべき役割～ 慶応義塾大学医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット 柳田 絵美衣先生	44名
第4回	令和元年 11月8日	「ISO15189」 アボットジャパン株式会社 診断薬機器事業部セールス テクニカルソリューション部 部長 井地 聡一先生	25名
第5回	令和2年 2月25日	「POCT」 東邦大学大森医療センター 臨床検査部 技師長補佐 奥田 裕子先生	19名

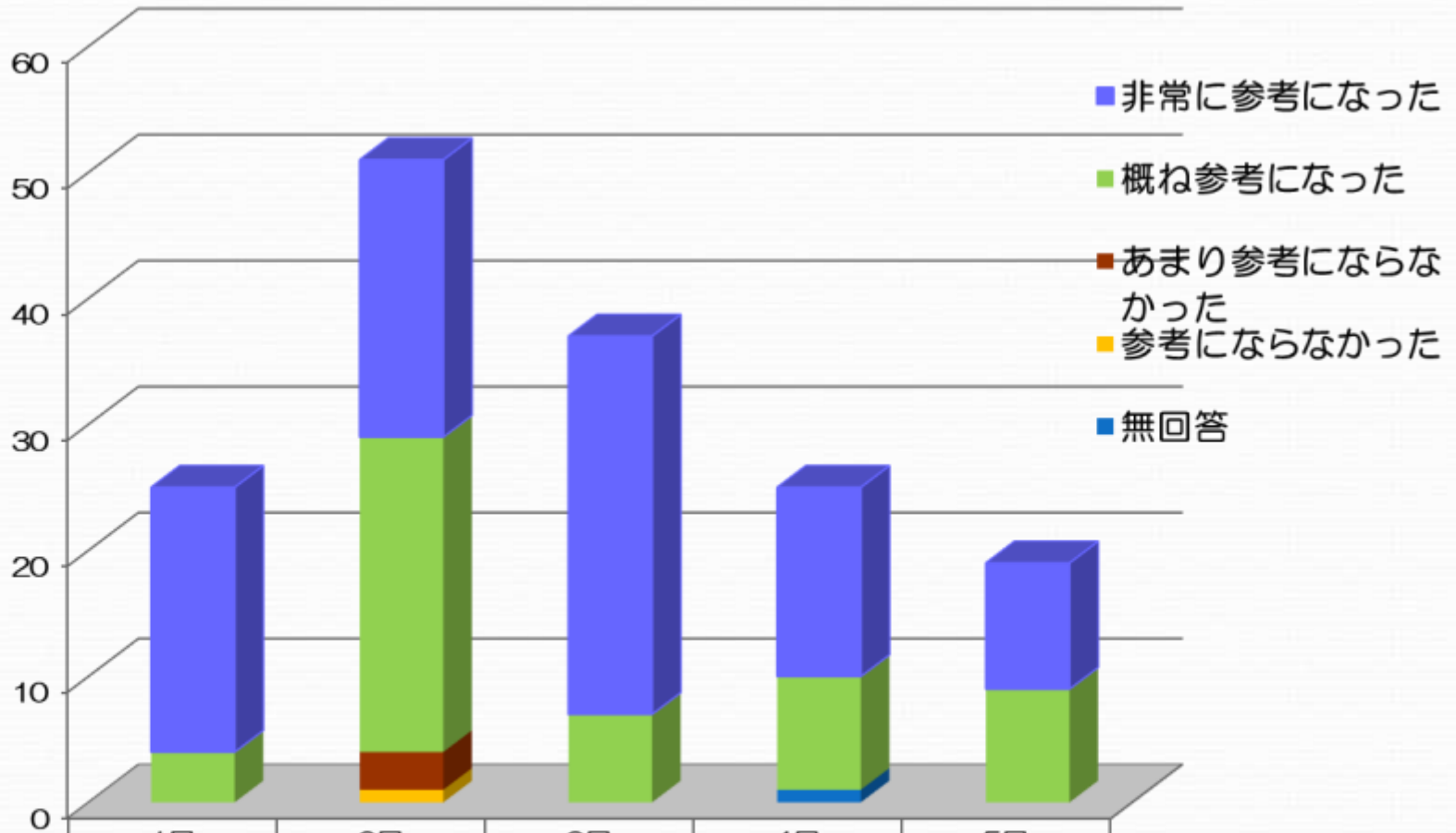
# 専門性向上研修参加者（人）



	1回	2回	3回	4回	5回
福祉保健局	1	4	4	5	3
病院経営本部	14	40	33	20	13
福祉保健局外郭団体	1	2	1	0	0
病院経営本部外郭団体	9	5	6	0	3



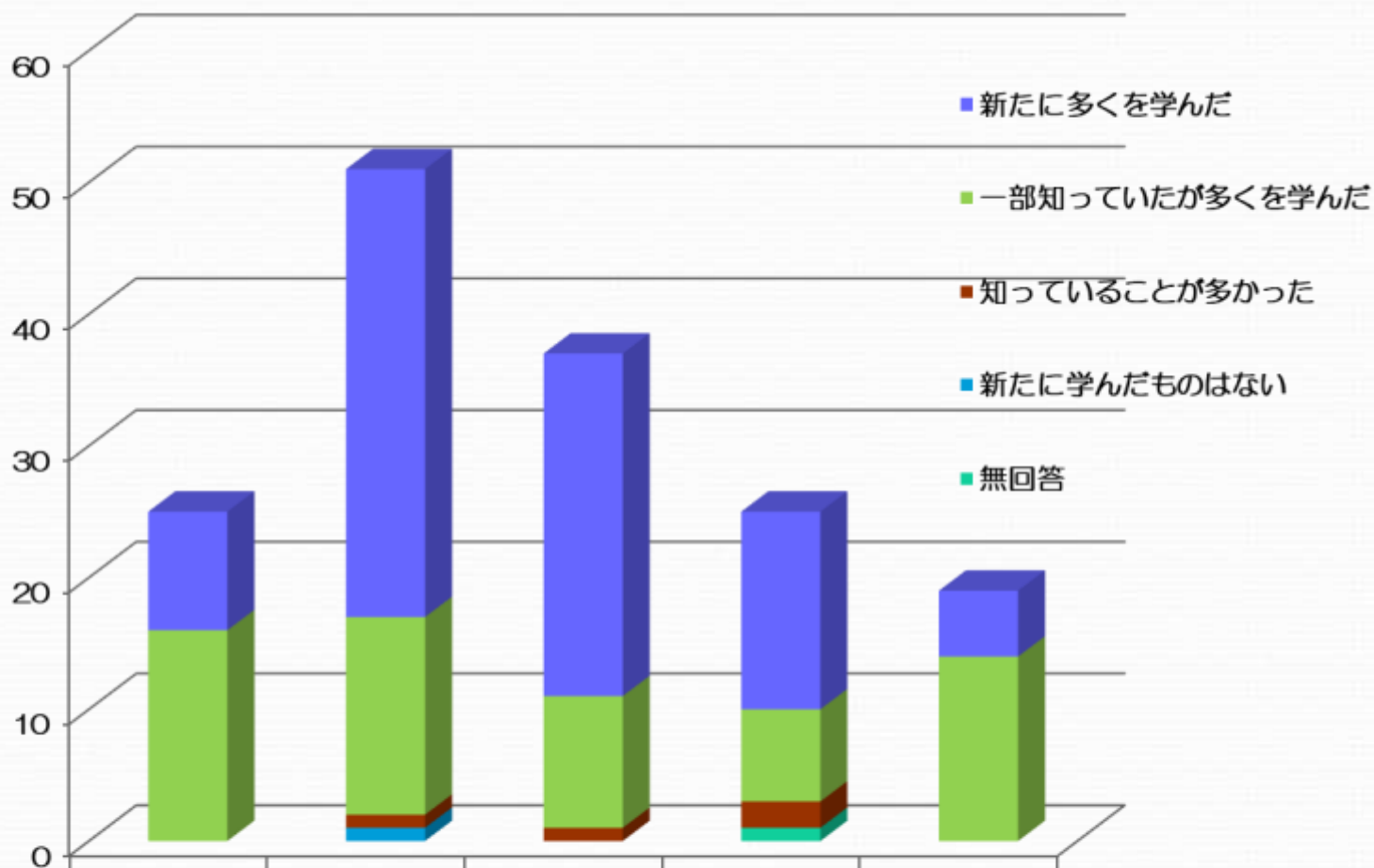
# 専門性向上研修に対する評価（人）



	1回	2回	3回	4回	5回
非常に参考になった	21	22	30	15	10
概ね参考になった	4	25	7	9	9
あまり参考にならなかった	0	3	0	0	0
参考にならなかった	0	1	0	0	0
無回答	0	0	0	1	0

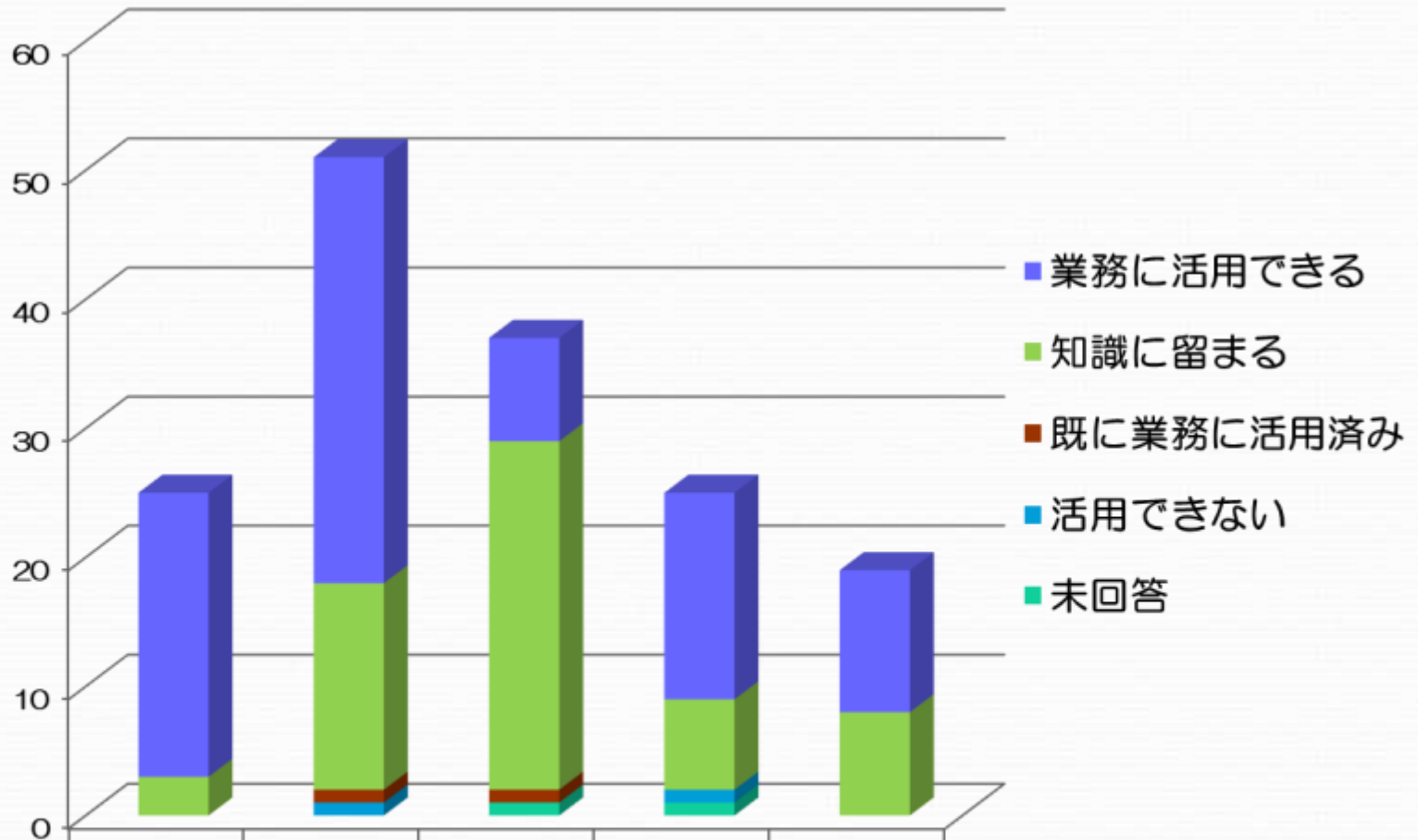
# 専門性向上研修評価

## 知識の取得（人）



	1回	2回	3回	4回	5回
新たに多くを学んだ	9	34	26	15	5
一部知っていたが多くを学んだ	16	15	10	7	14
知っていることが多かった	0	1	1	2	0
新たに学んだものはない	0	1	0	0	0
無回答	0	0	0	1	0

# 専門性向上研修評価 参考度・活用度 (%)



	1回	2回	3回	4回	5回
業務に活用できる	22	33	8	16	11
知識に留まる	3	16	27	7	8
既に業務に活用済み	0	1	1	0	0
活用できない	0	1	0	1	0
未回答	0	0	1	1	0

# 令和元年度 専門委員会勉強会

	開催日	テーマ／講師	人数
生理検査	令和2年 2月13日	「発達に偏りがある子供の理解と対応」 大塚病院 児童精神科 鈴木俊介部長	28名
輸血検査	令和2年 2月20日	「補助循環（PCPS・ECMO）時に輸血が必要となるのはどのような時？」 千葉科学大学危機管理学部医療機器学科臨床工学コース 非常勤講師 伊藤明先生	34名
病理検査	令和2年 2月21日	「コスパのよい神経系染色の選択」 東京都医学総合研究所 神経病理解析室 新井 信 隆先生	72名
細菌検査	令和2年 3月13日	「ISO15189取得」 アボットジャパン株式会社 井地聡一 駒込病院 検査科 柏谷淳 武蔵野赤十字病院 検査科 小野恵美	中止

# 第2号議案

令和元年度 会計報告

令和元年度

# 会計報告

# 令和元年度 予算

(期間：令和元年6月1日～令和2年5月31日)

## 収入の部

	予 算	備 考
前 年 度 繰 越	¥258,287	平成30年度繰越金
技 師 会 費	¥498,000	¥2,000×249名
雑 収 入	¥2	預金利子
総 収 入	¥ 756,289	

# 令和元年度 決算報告

(期間：令和元年6月1日～令和2年5月31日)

## 収入の部

	決 算	備 考
前 年 度 繰 越	¥258,287	平成30年度繰越金
技 師 会 費	¥498,000	¥2,000×249
寄 付 金	¥0	
雑 収 入	¥2	預金利子
総 収 入	¥ 756,289 <sup>(A)</sup>	



# 支出の部 1

項 目	予 算	執 行 額	執 行 率
組織調査費 親睦会費（中止の為） 講師料 座長	¥200,000	¥35,000 ¥0 ¥30,000 ¥5,000	17.5%
学 術 費 専門委員会勉強会 学術研究交流会	¥180,000	¥98,311 ¥77,911 ¥20,400	54.6%
渉 外 費	¥5,000	¥1,617	32.3%
交 通 費	¥50,000	¥29,886	59.8%
総 会 費	¥50,000	¥48,000	96.0%

# 支出の部 2

項 目	予 算	執 行 額	執 行 率
事務費 サーバー使用料 会費振込み手数料 引き出し手数料	¥20,000	¥16,474 ¥12,960 ¥3,296 ¥218	82.4%
記念事業積立	¥30,000	¥30,000	100%
懇親会費 第1回学術 第2回学術	¥150,000	¥129,900 ¥61,000 ¥68,900	86.6%
幹事会開催費	¥0	¥0	0%
予 備 費	¥71,287	¥0	0%
合 計	¥756,287	¥389,188 <sup>(B)</sup>	71.3%


## 差し引き残高

(A) 総収入	－	(B) 総支出	=	次年度繰越金
756,289 円	－	389,188 円	=	367,101 円

以上のように報告いたします。

令和 2 年 5 月 27 日

東京都職員臨床衛生検査技師会 会計

相澤 沙織 

令和元年度

# 会計監査報告

会計監査

令和元年度  
東京都職員臨床検査技師会 会計監査報告

会則第8条(6)により、令和2年5月27日東京都保健医療公社 大久保病院において会計監査を実施しました。

収入・収支に異常は認められませんでした。

令和2年5月27日

東京都職員臨床衛生検査技師会 会計監査

荒井 克己 

小林 美紀 

# 第3号議案

令和2年度 活動方針（案）

令和2年度

# 一般活動方針（案）

# 令和2年度 一般活動方針（案）

三役会・幹事会は職免団体の規定に基づいて時間外の活動とする。

<三役会>	18:30 ~ 18:45
<幹事会>	18:45 ~ 19:15

\*年間5回開催を予定

\*ただし連絡事項のみの場合にはメール連絡とする。



令和2年度

# 組織部活動方針（案）

# 令和2年度 組織部活動方針（案）

種別	内容	開催頻度目標
講演会	幅広い会員が興味を持てる新しい臨床検査に関する講演を立案する	1回開催
懇親会	定期総会・学術交流会後に交流を深める	2回開催
レクリエーション活動	幅広い会員が参加できる催しを企画し、会員の交流を深める（新人歓迎会を含む）	1回以上開催
退職者送別会	技師会主催もしくは共催で会員退職者に記念品、花束、アルバムを贈呈	未定
情報提供活動	技師会活動がより活発になるよう、技師会情報、学術情報を積極的に提供する	ホームページの適宜更新

令和2年度

# 学術部活動方針（案）

# 令和2年度 学術部活動方針

項目	内容	その他（講師等）
<p>専門性向上研修</p> <p>テーマ：地域に貢献できる臨床検査技師を目指して</p>	<p>① 採血の知識 ② 臨床検査技師におけるタスクシフティングについて ③ 在宅医療における臨床検査技師の役割</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今年度は3回の開催とする</p>	<p>①墨東病院 藤田先生 ②未定 ③未定</p>
<p>学術研究交流会</p>	<p>第1回 令和3年2月頃</p>	<p>5題程度</p>
<p>専門委員会活動の支援</p>	<p>①病理検査 ②細菌検査 ③輸血検査</p> <p>④生理検査 ⑤緊急検査</p>	<p>勉強会講師料等の補助</p>

# 第4号議案

令和2年度 予算（案）

令和2年度

予算(案)

# 令和2年度 予算（案）

（期間：令和2年6月1日～令和3年5月31日）

## 収入の部

	予 算	備 考
前 年 度 繰 越	¥367,101	令和元年度繰越金
技 師 会 費	¥482,000	¥2,000×241名
雑 収 入	¥294,200	退職者を送る会残金
総 収 入	¥1,143,301	

# 支出の部

項 目	予 算	備 考
組 織 調 査 費	¥165,000	講演会(中止)・新人歓迎会
学 術 費	¥180,000	専門委員会・学術交流会
渉 外 費	¥5,000	
交 通 費	¥50,000	
総 会 費	¥0	定期総会懇親会(中止)
懇 親 会 費	¥150,000	
事 務 費	¥20,000	
幹 事 会 開 催 費	¥0	
記 念 事 業 積 立 費	¥30,000	次期記念事業積立
予 備 費	¥543,301	
合 計	¥1,143,301	



# 第5号議案

令和2年度 名誉会員



# 令和2年度 名誉会員の推薦について

# 令和2年度 名誉会員対象者

上杉	正好	氏
柴咲	澄江	氏
杉本	篤	氏
星野	真理	氏

(五十音順)

# 第6号議案

令和2年度 役員



# 令和2年度 新役員のおすすめについて

# 令和2年度 役員改選について

3月19日に開催した東京都職員臨床衛生検査技師会令和2年度役員推薦委員会で下記の方々を推薦することに決定いたしました。

役 職	氏 名 (所 属)
会 長	市川 智士 (監察医務院)
副会長 (学術部長)	鈴木 智一 (神経病院)
副幹事長	吉田 圭 (小児総合医療センター)
会 計	押本 綾子 (都がん健診センター)
会計監査	西海 隆 (小児総合医療センター) 相澤 沙織 (豊島病院)

令和2年3月19日 推薦委員会委員長 工藤 洋子

# 第7号議案

審 議 1

# 審議事項1

退職者を送る会の残金は、雑収入に繰り入れる。

会計が現金で持っているH28、H29、R1年度の退職者を送る会の残金を来年度予算の雑収入として繰り入れる。技師会予算に繰り入れるには退職者を送る会に参加した全員に了解も得るべきところだが技師会の非会員も含め個別に確認をすることは困難なため、今回の審議事項とした。



# 第8号議案

審 議 2

# 審議事項2

活動費として図書カード（500円）などを配布する。

幹事会三役会開催については交通費は支払うものの業務終了後の時間外に集まって活動しているので、活動費として参加者には図書カードを配布する。

# 第9号議案

審 議 3

# 審議事項3

退職者を送る会について技師会主催で行う。

R1年度の退職者を送る会は中止となり、記念品・花束・アルバム（これから発送）を贈呈しました。送別会については退職者のいる施設からの開催申し入れがなく、R1年度は技師会が主催となった。今後も技師会主催で行うこととする。

# 新会長のあいさつ

今年度、会長に就任いたしました監察医務院の市川です。この機会に、職員技師会の設立の目的は何かと思い、規約を読んできました。そこには、「学術技能の研鑽発掘を図り、もって都民の保健・医療の向上に寄与する」とあり、そのために、会員相互の交流及び親睦向上、学術・技能・地位向上に関する事業などを行うことが書かれていました。職員技師会は、今までもいろいろな行事を企画し、活動してきましたが、これからは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止「新しい日常」を念頭に置いて、活動していかなくてはなりません。まだ、どのように活動していくか模索中です。会員の皆様、施設幹事の皆様とともに職員技師会の新しい活動のあり方を考え、協力し、目的を果たしていけるよう努力していきたいと思っております。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

市川 智士

令和2年6月16日までに委任状もしくは書面表決書を施設幹事までご提出ください。

議案の可決につきましてはご提出いただいた書面表決書のうち、賛成が過半数に達した場合に可決とさせていただきます。何とぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。